

第137回 日商簿記検定試験 2級 一工業簿記一

模範解答

模範解答・予想配点・解説等は、学校法人高橋学園が独自の見解によって作成しており、検定試験実施機関における本試験の解答並びに出題の意図を保証するものではありません。なお、予告なしにその内容を変更する場合がございます。ご理解いただいたうえで、ご利用ください。

第4問〔丸数字は予想配点、合計20点〕

製造原価報告書

(単位：円)

I 材料費			
1 期首材料棚卸高	120,000		
2 当期材料仕入高	(9,880,000)		
合計	(10,000,000)		
3 期末材料棚卸高	(150,000)	(② 9,850,000)	
II 労務費			
1 賃金	(② 4,360,000)		
2 給料	(② 300,000)	(4,660,000)	
III 経費		(② 5,390,000)	
合計		(19,900,000)	
製造間接費配賦差異		(② 100,000)	
当期総製造費用		(② 19,800,000)	
期首仕掛品棚卸高		(200,000)	
合計		(20,000,000)	
期末仕掛品棚卸高		(300,000)	
当期製品製造原価		19,700,000	

仕掛品

(単位：円)

前期繰越 (200,000)	当期完成高 (② 19,700,000)
直接材料費 8,295,000	次期繰越 (② 300,000)
直接労務費 (② 3,835,000)	
製造間接費 (② 7,670,000)	
(20,000,000)	(20,000,000)

第5問〔丸数字は予想配点、合計20点〕

組別総合原価計算表

(単位：円)

	X 製品		X 製品	
	直接材料費	加工費	直接材料費	加工費
月初仕掛品原価	451,000	129,400	—	—
当月製造費用	2,370,000	② 1,701,000	1,545,000	924,000
合計	2,821,000	1,830,400	1,545,000	924,000
月末仕掛品原価	② 546,000	② 230,400	—	—
完成品総合原価	② 2,275,000	② 1,600,000	1,545,000	② 924,000

損益計算書

(単位：円)

I 売上高		7,520,000
II 売上原価		
1 月初製品棚卸高	(② 920,000)	
2 当月製品製造原価	(② 6,344,000)	
合計	(7,264,000)	
3 月末製品棚卸高	(② 1,191,000)	(6,073,000)
売上総利益		(② 1,447,000)